



S90 XS/S70 XSリモートエディター 取扱説明書

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、〈ソフトウェア使用許諾契約〉を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合のみご使用いただけます。

本ソフトウェアのダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をされた場合には下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みください。ご同意いただけない場合は、ダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をおやめください。すでにダウンロードやインストールをしたが、下記条項にご同意いただけないという場合には、速やかに本ソフトウェアを削除してください。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はおお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用することができます。
- バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
- 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用MIDIデータ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの本保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの本保証はいたしません。

5. 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- 弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- 弊社は、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- 弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7. 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

ご注意

- 市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- このソフトウェアおよびマニュアルの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このファイルに掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合があります。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- Steinberg およびCubase は、Steinberg Media Technologies社の登録商標です。
- その他、このファイルに掲載されている会社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

このマニュアルは、お客様がWindows/Macintoshの基本的な操作方法について十分おわかりいただいていることを前提に書かれています。Windows/Macintoshの操作方法については、Windows/Macintoshに付属のマニュアルをご参照ください。S90 XS/S70 XSリモートエディターを使用するために必要なコンピューター環境、機器の接続、S90 XS/S70 XSリモートエディターのインストールについては、別冊のインストールガイドおよびS90 XS/S70 XSの取扱説明書をご参照ください。

目次

ソフトウェアのご使用条件	1
ご注意	2
S90 XS/S70 XSリモートエディターとは	3
S90 XS/S70 XSリモートエディターのデータ構成	3
S90 XS/S70 XSリモートエディターの起動から終了までの流れ ...	4
ウィンドウ各部の名称と機能	7
困ったときは（トラブルシューティング）.....	14

S90 XS/S70 XSリモートエディターとは

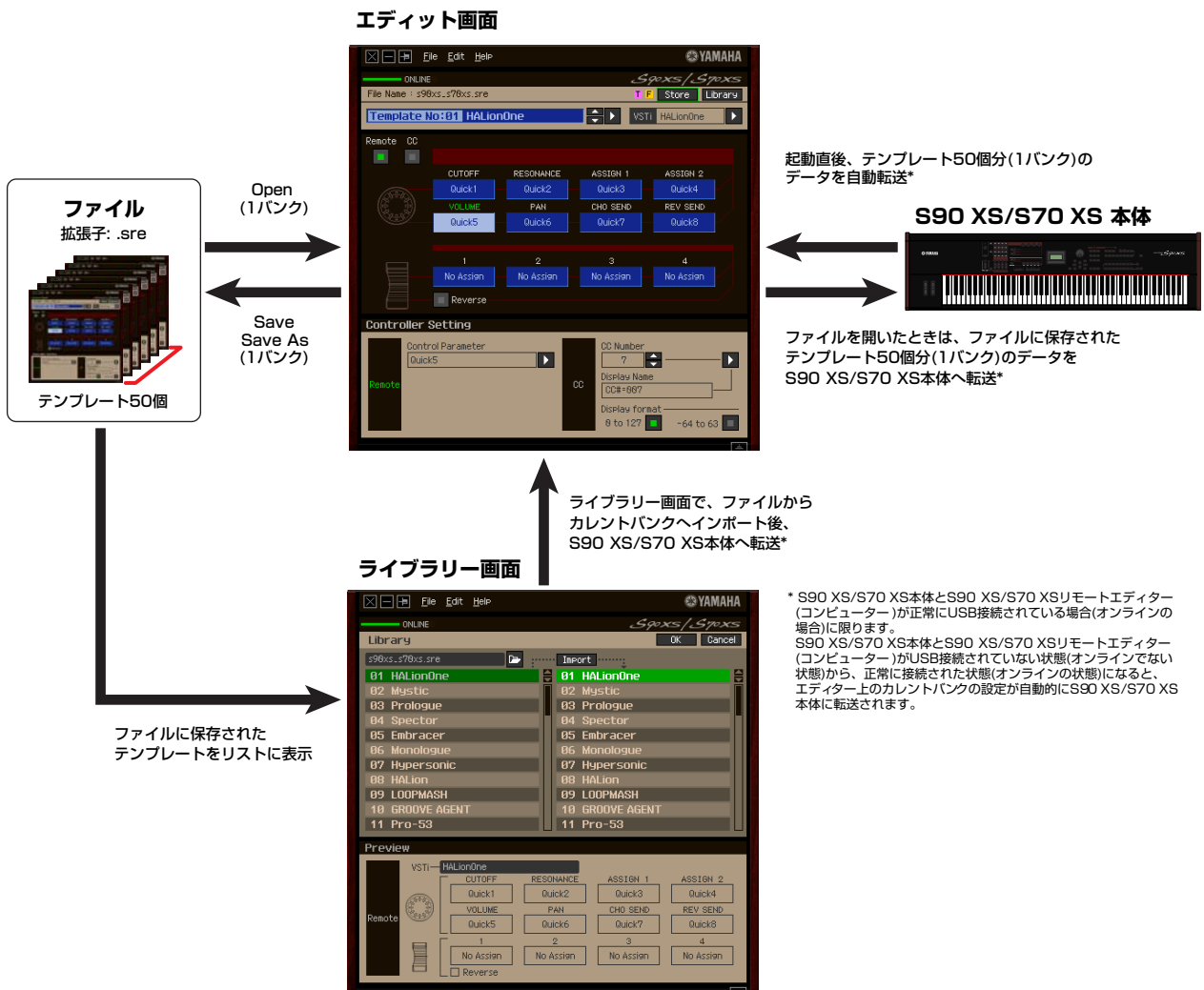
ヤマハミュージックシンセサイザー S90 XS/S70 XS用のテンプレート(コントロールテンプレート)をコンピューター上で編集/作成するためのアプリケーションです。テンプレートを使うと、S90 XS/S70 XS上のノブやスライダーに、現在使用しているVSTiの操作に最適な機能を割り当てられます。

S90 XS/S70 XS本体上では、50個のテンプレートを扱っていますが、S90 XS/S70 XSリモートエディターでは50個のテンプレートを1バンクとみなし、いくつものバンクを新規に作成/編集/削除できます。また、エディター上で作ったテンプレートは50個分(1バンク分)をまとめてS90 XS/S70 XS本体に送ったり、1バンク分をまとめて1つのファイル(拡張子:.sre)としてコンピューターに保存します。

S90 XS/S70 XSリモートエディターのデータ構成

S90 XS/S70 XSリモートエディターでは、バンク(テンプレート50個分をまとめたデータ)やファイル(1つのバンクを保存したデータ)に含まれているテンプレートをそれぞれ編集します。現在編集中のバンク(カレントバンク)の編集作業が完了したら、「Save」または「Save As…」メニューを使って、編集したバンクをファイルに保存します。バンクは、ファイルに保存しておけば次回エディターを起動したときに再度呼び出せます。

S90 XS/S70 XSリモートエディターで作られるデータおよびその流れについては、下図を参考にしてください。



S90 XS/S70 XSリモートエディターの起動から終了までの流れ

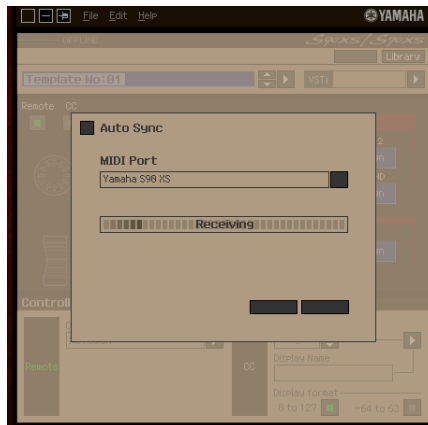
S90 XS/S70 XSリモートエディターは、S90 XS/S70 XS Remote Toolsに含まれるソフトウェアです。S90 XS/S70 XS Remote Toolsのインストールガイドに従ってS90 XS/S70 XSリモートエディターや関連ソフトウェアをインストールしたあと、下記手順に従ってS90 XS/S70 XSリモートエディターを操作します。操作を始める前に、コンピューターとS90 XS/S70 XSがUSBケーブルで正しく接続されていることを確認してください。

実際には、さまざまな手順でエディット作業を行なうこととなりますので、下記手順は1つの例として参考になしてください。

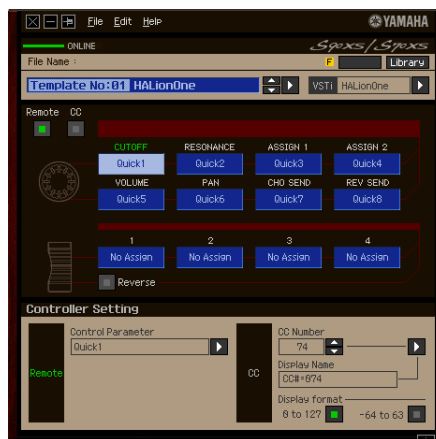
NOTE S90 XS/S70 XSリモートエディターのインストール後、スタインバーグ社製DAWソフトウェアを一度も起動していない場合は、DAWソフトウェアをいったん起動させ、すぐに終了させてください。この操作は、S90 XS/S70 XSリモートエディターがDAWソフトウェア内をスキャンしてVSTインストールメントの情報を取得するために必要です。(DAWソフトウェアへのスキャンは、Cubase などスタインバーグ社製DAWソフトウェアに限ります。)

1. [スタート] → すべてのプログラム → [Yamaha S90 XS _ S70 XS Remote Editor] → [Yamaha S90 XS _ S70 XS Remote Editor] を選んで、S90 XS/S70 XSリモートエディターを起動します。

下記のように、Auto Sync画面が表示され、S90 XS/S70 XS本体にあるテンプレート50個分の設定が、S90 XS/S70 XSリモートエディターのカレントバンク(10ページ) に自動転送されます。



自動転送が完了すると、下記Edit (エディット)画面が表示されます。



NOTE S90 XS/S70 XSとコンピューターがUSBケーブルで接続してあるにもかかわらず、Auto Sync 画面でS90 XS/S70 XS本体からの自動転送がうまく行なわれない場合、S90 XS/S70 XS本体のユーティリティーMIDI画面で、MIDI In/OutとDevice Numberの設定を、下記のようにしてください。

- MIDI In/Out : USB
- Device Number : 1またはall

2. [File]メニューから[Setup]を選び、Setup画面を表示させます。



3. MIDI Port = Yamaha S90 XS (Yamaha S70 XS)に設定されていることを確認し、DAW Select から使用するDAW ソフトウェアを選択します。

コンピューターとS90 XS/S70 XSが適切にUSB接続されていれば、上記の画面を開いた時点で既にMIDI Port = Yamaha S90 XS (Yamaha S70 XS)に設定されています。S90 XS/S70 XSリモートエディターでは、DAWソフトウェアに登録されているVSTインストゥルメントの情報を取り込む必要がありますので、DAW Select 欄で、コンピューターにインストールされているDAWソフトウェアのうち実際に使うものを選びます。

4. [OK] をクリックすると、VSTインストゥルメントのスキャンが自動的に始まります。

手順3で選んだDAWソフトウェアに登録されているVSTインストゥルメントをスキャンして、S90 XS/S70 XSリモートエディター上で必要な情報を読み込みます。



VSTインストゥルメントのスキャンが完了すると、もとの画面に戻ります。これでS90 XS/S70 XSリモートエディターの起動および設定が完了です。

NOTE 手順4で[OK]をクリックしてもVSTインストゥルメントのスキャンが行なわれなかった場合は、[File]メニューから[VST Database]→[Full Scan]を選ぶことで、スキャンを実行してください。

5. Cubase など、DAWソフトウェアを起動します。
6. S90 XS/S70 XS本体の[DAW REMOTE]ボタンを押して、リモートモードに切り替えます。

7. Edit (エディット)画面上で、テンプレートのエディットを行ないます。

「ウィンドウ各部の名称と機能」(7ページ)や「メニュー」(10ページ)を参考にしながら、エディット作業を行ないます。オンラインの状態(S90 XS/S70 XS本体とコンピューターが正常にUSB接続されている状態)であれば、エディター上の設定がS90 XS/S70 XS本体にリアルタイムに反映されますので、実際にVSTiを操作しながら設定を変えてみましょう。

8. エディット作業が終わったら、[File]メニュー →[Save]または[Save As...]を選んで、編集したテンプレート(バンク)をファイルとして保存します。**9. 画面左上にある「×」マークをクリックして、S90 XS/S70 XSリモートエディターを終了します。**

ファイルへの保存ができていない場合は、ファイルへの保存を促すメッセージが表示されますので、ファイルを保存してエディターを終了します。


ウィンドウ各部の名称と機能

S90 XS/S70 XSリモートエディターには、現在選択されているテンプレートの編集作業を行なうEdit (エディット)画面と、テンプレートのインポートやコピーを行なうLibrary (ライブラリー)画面の2つがあります。

Edit (エディット)画面



1 前面ボタン

S90 XS/S70 XSリモートエディターを常に前面に表示するためのボタンです。
 で常に前面に表示する状態となります。

2 ONLINE (オンライン)

S90 XS/S70 XS本体とS90 XS/S70 XSリモートエディターがオンラインの状態 (正常にUSB接続されている状態)かどうかを表示します。緑色に点灯している場合がオンラインの状態で、S90 XS/S70 XSリモートエディター上での編集作業がリアルタイムでS90 XS/S70 XS本体に反映されます。

3 Library (ライブラリー)ボタン

クリックすると、Library画面(10ページ)が開きます。

4 Store (ストア)ボタン

クリックすると、Store (ストア)画面が表示されます。Store画面では、現在編集中のテンプレートをカレントバンクの任意の場所を選択して保存できます。また、保存したテンプレートは、S90 XS/S70 XS本体に送信されます。

5 File Name (ファイルネーム)表示

現在編集中のテンプレートが保存されているファイルの名前を表示します。

6 [T]/[F] マーク

テンプレートやバンクの編集状態を示すマークです。[T]マークはテンプレートがカレントバンクに保存されていないことを示します。④ Storeボタンを押して、編集中のテンプレートを保存すると[T]マークが消えます。[F]マークは、カレントバンクがファイルに保存されていないことを示します。ファイルを保存すると[F]マークが消えます。

7 テンプレート選択欄

編集中のテンプレート名を表示します。上下矢印ボタンをクリックすると、カレントバンク内の50種類のテンプレートが順次選択できます。三角ボタンをクリックすると、テンプレートの一覧が表示されるので、その中から編集したいテンプレートを選択できます。

8 VSTインストゥルメント選択/入力ボックス

ノブやスライダーでコントロールするVSTインストゥルメントの名前が表示されます。右側の三角ボタンをクリックすると、選択できるVSTインストゥルメントの一覧が表示され、必要に応じて変更できます。また、ボックスに直接VSTインストゥルメントの名前を文字入力することもできます。その場合、正確に入力する必要があります。

NOTE 目的のVSTインストゥルメントが一覧に表示されない場合は、「困ったときは」(14ページ)をご覧ください。

9 エディット部

この欄にあるノブ/スライダーのイラストは、S90 XS/S70 XS本体パネルのノブ/スライダーを表します。各ノブ/スライダーに割り当てる機能を、好みに応じて編集します。

9-1 Remote/CC切替ボタン

S90 XS/S70 XS本体のノブ/スライダーを操作することでMIDI出力されるメッセージの種類を、Remote (Cubase専用のリモートコントロール)にするか、CC (コントロールチェンジ)にするかを選択します。

9-2 ノブ/スライダーへの機能割り当てボックス群

S90 XS/S70 XS本体上にあるノブ/スライダーを表します。ノブの右側にある8つのボックスとスライダーの右側にある4つのボックスには、現在ノブ/スライダーに割り当てられている機能が表示されます (Remote/CC切替ボタンの状態によって表示される機能は異なります)。編集したいボックスをクリックしたあと、⑩ Controller Setting (コントローラーセッティング)部で機能を選ぶことにより、該当するノブやスライダーに割り当てる機能を変更します。オンラインの状態では、ここでの変更はS90 XS/S70 XS本体の設定にリアルタイムに反映されます。

9-3 Reverse (リバース)ボタン

スライダーでコントロールする値の増減を反転します。たとえば、スライダーを上動かすと値が増加するパラメーターをスライダーに割り当ててこのボタンをオンにした場合は、スライダーを上動かすと値が減少します。もう一度クリックすると元の状態に戻ります。

10 Controller Setting (コントローラーセッティング)部

⑨ エディット部で選択した欄に該当するノブやスライダーの機能を実際に設定する部分です。エディット部のRemote/CC切り替えボタンがRemoteの場合の設定を行なう部分と、CCの場合の設定を行なう部分とに分かれます。

10-1 Remote (リモート)部

エディット部で選択した機能割り当てボックスに該当するノブ/スライダーに、機能を割り当てます。エディット部のRemote/CC切り替えボタンがRemoteの場合に、ここでの設定が有効になります。この部分の左にある「Remote」をクリックした場合も、エディット部のRemote/CC切り替えボタンがRemoteに切り替わります。

• Control Parameter (コントロールパラメーター)

三角マークをクリックして表示されるメニューから、使いたい機能を選択します。

NOTE QuickCtrl1~QuickCtrl8は、Cubase 4.1シリーズ以降のDAWソフトウェアでのみ動作するパラメーターです。また、本体のディスプレイに表示される文字は半角英数文字だけです。その他の文字を入力すると「—」が表示されます。

⑩-2 CC (コントロールチェンジ)部

エディット部で選択した機能割り当てボックスに該当するノブ/スライダーに、機能を割り当てます。エディット部のRemote/CC切り替えボタンがCCの場合に、ここでの設定が有効になります。この部分の左にある「CC」をクリックした場合も、エディット部のRemote/CC切り替えボタンがCCに切り替わります。

• CC Number (コントロールチェンジナンバー)

コントロールチェンジナンバーを設定します。上下矢印ボタンをクリックすることでナンバーを選びます。数値を直接入力することもできます。

• Display Name (ディスプレイネーム)

エディット部のRemote/CC切り替えボタンがCCの場合に、S90 XS/S70 XS本体の画面に表示されるノブ機能の名称を、ここで設定します。三角マークをクリックすることで表示されるメニューの中から1つを選びます。文字を直接入力することもできます。

• Display Format (ディスプレイフォーマット)

ノブ/スライダー操作によってS90 XS/S70 XS本体に表示される設定値のフォーマットを、0~127か-64~+63かのどちらかに設定します。

⑪ 詳細ボタン

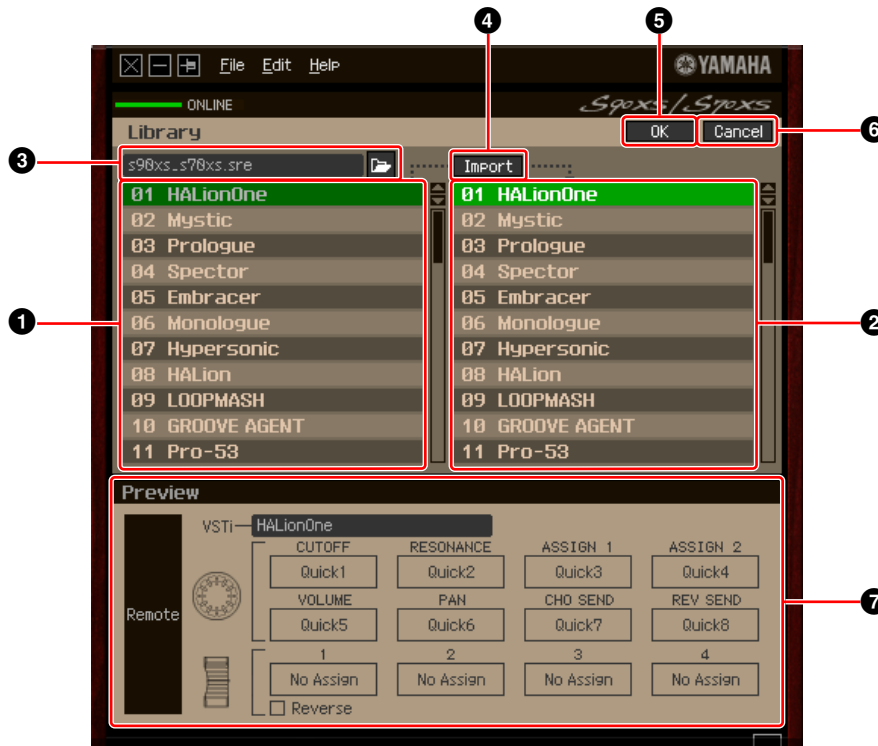
このボタンをクリックするとController Setting部を非表示にします。もう一度押すとController Setting部を表示します。



Controller Setting非表示のとき

Library (ライブラリー) 画面

Edit画面でLibraryボタンをクリックすると、以下のLibrary画面が表示されます。



① ファイル内のテンプレートリスト

ファイルに保存されているテンプレートの一覧を表示します。このリストからインポート元のテンプレートを選び、② カレントバンクのテンプレートリストでインポート先のテンプレートを選んで④ [Import] ボタンをクリックすると、ファイルに保存されているテンプレートがカレントバンクにインポートされます。選択されたテンプレートの現在の設定は、⑦ Preview (プレビュー)に表示されます。

② カレントバンクのテンプレートリスト

カレントバンクにあるテンプレートの一覧を表示します。このリストから編集したいテンプレートを選択して⑤ [OK]ボタンをクリックすると、Edit画面に戻ります。選択されたテンプレートの現在の設定は、⑦ Preview (プレビュー)に表示されます。カレントバンクのテンプレートリスト上では、テンプレートのコピーや貼り付けを行なうことができます。

③ ファイル部

ファイルを開くアイコンをクリックするとダイアログが表示され、以前に保存したファイルを選択できます。ファイルを選択すると① ファイル内のテンプレートリストに、ファイルに保存されているテンプレートの一覧が表示されます。また、選択したファイルの名前が、ボタンの左側にあるウィンドウに表示されます。

④ [Import] ボタン

ファイルに保存されているテンプレートのうち、編集したいテンプレートをカレントバンクにインポートします。

NOTE インポートは、テンプレートひとつずつ行ないます。複数のテンプレートを同時にインポートする場合は、Edit画面で [File]→[Open]からバンク全体で行ないます。

5 [OK] ボタン

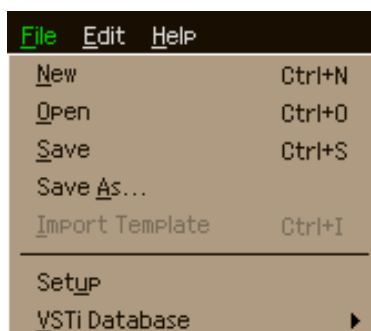
② カレントバンクのテンプレートリストを確定して、Edit 画面に戻ります。オンラインの状態であれば、S90 XS/S70 XS本体にも同時に転送します。

6 [Cancel] ボタン

② カレントバンクのテンプレートリストに対する編集を確定せずに、Edit画面に戻ります。

7 Preview (プレビュー)

テンプレートリストで現在選択されているテンプレートの設定が表示されます。

[File] メニュー**New (新規作成)**

新しいバンクを作成します。Edit画面でのみ選択できます。

Open (ファイルを開く)

ファイルに保存されたバンクを開きます。Edit画面でのみ選択できます。


Save (保存)

エディット中のバンクを同じファイルに上書きします。Edit画面でのみ選択できます。

Save As... (名前をつけて保存)

エディット中のバンクを、ファイルに新しい名前をつけて保存します。Edit画面でのみ選択できます。

Import Template (テンプレートの読み込み)

テンプレート50個分 (1バンク分)の設定が入ったファイル (拡張子: .sreまたは.xml)を読み込んで、ライブラリー画面にある、ファイル内のテンプレートリストに表示します。Library画面でファイル部のアイコン  をクリックしたときと同じです。Library画面でのみ選択できます。

Setup (設定)

エディターの基本的な設定として、接続しているS90 XS/S70 XSのMIDIポートや、使用するDAWソフトウェアを選択します。このメニューを選ばると、下記画面が表示されます。各メニューを設定後[OK] ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。



- **MIDI Port (MIDIポート)**

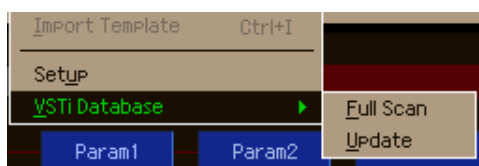
S90 XS/S70 XSとコンピューターが適切に接続されていれば、「Yamaha S90 XS (Yamaha S70 XS)」が自動的に設定されます。

- **DAW Select (DAWソフトウェアの選択)**

現在コンピューターにインストールされているDAWソフトウェアのうち、どれを使うかを選択します。

VSTi Database (VSTiデータベース)

DAW Selectで選択したDAWソフトウェアに登録されているVSTインストゥルメントをスキャンして、必要な情報を取得します。このメニューは、さらに下記の2つのメニューに分かれます。

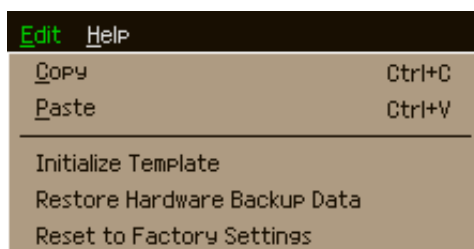


Full Scanは、DAWソフトウェアで使用しているVSTインストゥルメント全体をスキャンします。初めてVSTインストゥルメントをスキャンするときはFull Scanを選択します。

Updateは、前回のスキャン以降に変更された箇所のみをピックアップしてスキャンします。VSTインストゥルメントを新たにインストールしたときは、Updateを選びます。

S90 XS/S70 XSリモートエディターを初めて起動したときと、SetupのDAW SelectでDAWソフトウェアを新たに選択したときには、Full Scanが自動的に実行されます。

[Edit] メニュー



Copy (コピー)

選択している情報をコピーします。

Paste (貼り付け)

コピーした情報を、選択位置に貼り付けます。

Initialize Template (テンプレートの初期化)

エディット中のテンプレートのすべての設定を初期値に戻します。

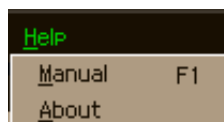
Restore Hardware Backup Data (ハードウェアバックアップデータを復元する)

エディター上とS90 XS/S70 XS本体上のすべてのテンプレートを、エディターを起動する前の状態に戻します。Library画面でのみ選択できます。

Reset to Factory Settings (工場出荷時のデータに戻す)

エディター上とS90 XS/S70 XS本体上のすべてのテンプレートを、工場出荷時の状態に戻します。Library画面でのみ選択できます。

[Help] メニュー



Manual (マニュアル)

本書を開きます。Adobe® Reader® やAdobe Acrobat® などのPDFファイル対応アプリケーションが起動します。

About (バージョン情報)

S90 XS/S70 XSリモートエディターのバージョン情報が表示されます。

困ったときは（トラブルシューティング）

Edit画面のVSTi 選択/入力ボックスの右側にある三角マークをクリックしてVSTi リストを表示させても、DAW に登録してあるはずのVSTi が見つからない。

- S90 XS/S70 XSリモートエディターがDAW内のVSTiを認識していない可能性があります。[File]メニュー→[VSTi Database]→[Full Scan]を実行してください。（[12ページ](#)）

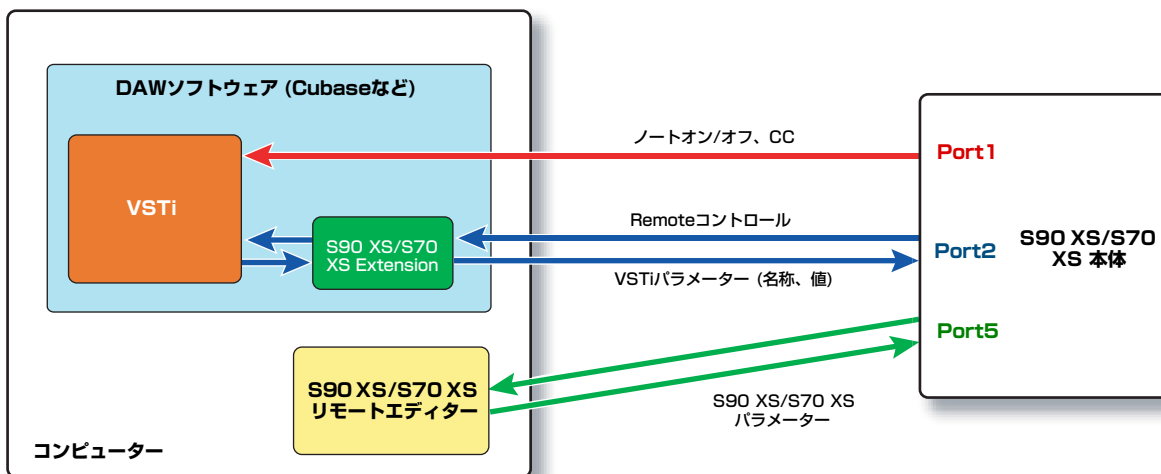
S90 XS/S70 XSリモートエディター上で設定したパラメーターが、S90 XS/S70 XS本体上に表示されない。

- S90 XS/S70 XS本体上での表示内容は、Cubaseから送られてくる情報に基づいています。Cubaseを起動し、対象のVSTiを選択してください。

Cubase などのDAWソフトウェア上でVSTiを切り替えても、S90 XS/S70 XS本体のコントロールテンプレートが適切なものに切り替わらない。

- VSTiの情報は、S90 XS/S70 XS Extensionを通じてS90 XS/S70 XSリモートエディターに送られます（[下図参照](#)）。最新のS90 XS/S70 XS Extensionがインストールされていることを確認してください。
- DAWソフトウェア上で選ばれているVSTiがVSTi選択/入力ボックス（[8ページ](#)）の表示と一致していることを確認してください。

[参考] S90 XS/S70 XSリモートエディター、S90 XS/S70 XS本体、DAWソフトウェア間でのデータ送受信



S90 XS/S70 XS 本体のノブを動かすと、意図しないRemoteパラメーターが動いてしまう。

- Cubase上のMIDIポートの設定で、S90 XS/S70 XSのポート2とポート5のAll MIDI Inputをオフにしてください。

Edit画面でControl Parameterの右にある三角マークをクリックしても、適切なコントロールパラメーター群が表示されない。

- VSTi が正しく設定されていない可能性があります。VSTi選択/入力ボックス（[8ページ](#)）に文字を直接入力した場合は、スペルが間違っていないか、スペースの有無が正しいかを確認してください。または、ボックス右側にある三角マークをクリックすることで表示されるメニューの中から、使いたいVSTiを選んでください。

Cubase以外のDAWソフトウェアで、設定したパラメーターが動かない。

- Cubase以外ではRemoteによるコントロールはできません。Remote/CC切替ボタン(8ページ)をCCにしてください。
- S90 XS/S70 XS本体の[UTILITY]→「Remote」→「DAW Select」で、「Cubase」以外を選択してください。

DAWソフトウェア上でトラックを変更しても、コントロール対象となるVSTiが切り替わらない。前回選択したトラックのVSTiがコントロールされる。

- DAWソフトウェアの初期設定で、[編集操作]→[プロジェクト/ミキサー]を開き、「プロジェクト/ミキサー選択の同期」と「選択トラックを自動的に録音可能に設定」の両方にチェックを入れてください。
- Cubaseをお使いの場合、リモートデバイスの設定で、「Yamaha S90 XS/S70 XS」を選択し、MIDI入出力ポートとしてS90 XS/S70 XS のポート2を選択してください。
- S90 XS/S70 XS本体がリモートモードになっていることを確認してください。(5ページ)